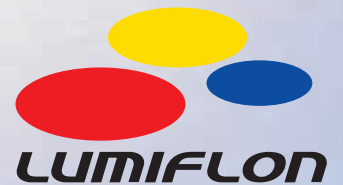


# DNTクリーンシステム

建築用(カーテンウォール・外壁)超耐候性汚れ防止形ふっ素樹脂塗料

**Vフロン** #200 クリーン (常温乾燥形)  
#2000FC (中温焼付形)



大日本塗料株式会社

# Vフロン#200クリーン

常温乾燥形雨すじ汚れ防止ふっ素樹脂塗料

丸の内パークビルディング



# Vフロン#2000FC

中温焼付乾燥形雨すじ汚れ防止ふっ素樹脂塗料

日本テレビ新社屋



# DNTクリーンシステム

建築用(カーテンウォール・外壁)超耐候性汚れ防止形ふっ素樹脂塗料

汚れが

**付きにくい** **しみ込みにくい** **取れやすい**

当社は画期的な超耐候性を持つふっ素樹脂塗料の開発をいち早く手がけ、高層ビルのカーテンウォールや外壁を中心に、広く使用されてきました。

最近、建物の景観保持や資産価値の点から、より一層汚れにくい塗料が求められてきています。汚れの状態は、環境や建物の構造により様々ですので、それぞれの条件に合った汚れ防止対策が必要です。

そこで当社は、建物の汚れ防止を求め、汚れが「付きにくい」「しみ込みにくい」「取れやすい」の汚れ防止対策を駆使して、汚れにくい超耐候性ふっ素樹脂塗料を完成しました。

## 特長

### 低汚染性

特殊な親水性成分をハイブリッド化し、塗膜表面に水になじむ部分をモザイク状に配列させることにより、塗膜表面の帯電性を低下させて、汚れが付きにくく、かつ雨水によって洗い流されやすくしています。

### 画期的な超耐候性

ふっ素樹脂のもつ基本特性である耐紫外線性により暴露後の物性劣化も少なく、長期保護と光沢保持特性を発揮し、メンテナンスの周期を延ばす大きな効果を持っています。

## 塗膜特性の違い

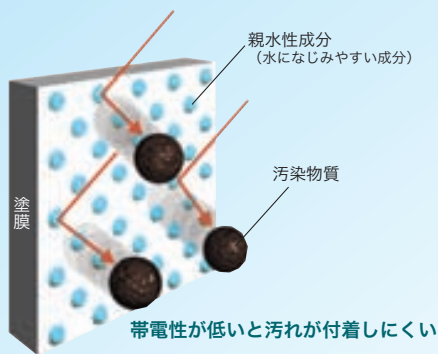
制御技術	汚れ防止形塗料	従来品	汚れ防止形塗料の塗膜特性
塗膜の帯電性 (帯電量が半減するまでの保持時間: t)	<p>t: 短い</p>	<p>t: 長い</p>	塗膜の帯電保持時間を短くし、大気中に浮遊する汚染物質を寄せつけません。
塗膜に接する水の挙動 (水の接触角: $\theta_w$ )	<p><math>\theta_w</math>: 小さい</p>	<p><math>\theta_w</math>: 大きい</p>	表面を親水部と疎水部のモザイク状に配列させると、水の接触角が下がると同時に、水の動きがスムーズになるため、汚染物質と塗膜との間に容易に水が浸透し、汚れを除去します。
塗膜に付着した油汚れの水中での挙動 (水中油接触角: $\theta_{ow}$ )	<p><math>\theta_{ow}</math>: 大きい</p>	<p><math>\theta_{ow}</math>: 小さい</p>	汚れの大きな要因とされている油汚れについては、水中油接触角を大きくし、付着力を低下させることで除去しやすくなります。

# 超耐候性に汚れ防止をプラス

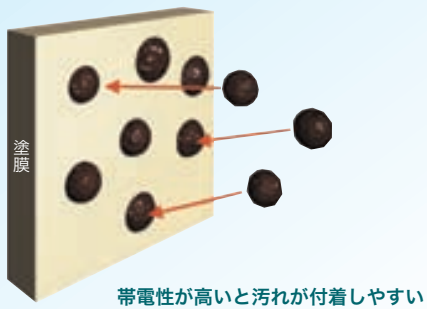
## 塗膜に汚れが付きにくい

塗膜表面に存在する水になじみやすい成分が、帯電性を低下させますので、浮遊している汚染物質の付着や集積を防止します。

汚れ防止形塗料



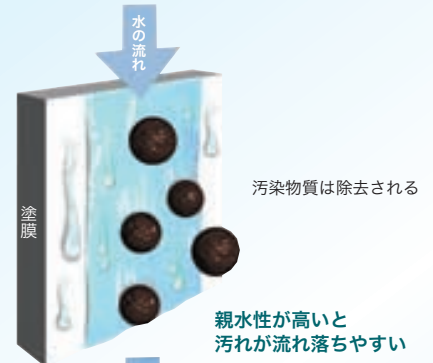
従来形塗料



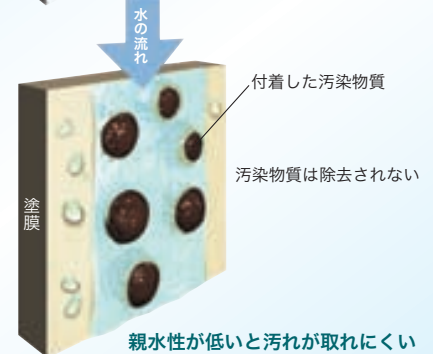
## 塗膜に付着した汚れが雨水で流れ落ちやすい

塗膜表面は水になじむ親水性のために、散水や雨水などの動きはスムーズとなり、塗膜と汚染物質との間に水が入り込みやすく、汚染物質を容易に浮き上がらせます。

汚れ防止形塗料



従来形塗料

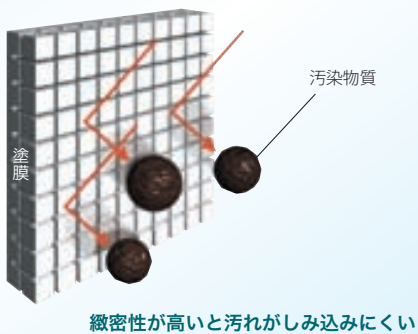


汚  
れ  
防  
止  
技  
術  
の  
メ  
カ  
ニ  
ズ  
ム

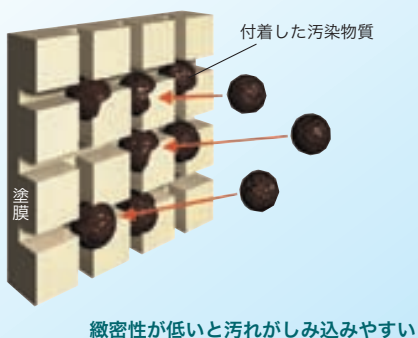
## 塗膜に汚れがしみ込みにくい

塗膜表面は温度の変化に影響を受けにくい物質で緻密な構造を形成しているために、汚染物質のしみ込みを防止します。

汚れ防止形塗料



従来形塗料



## 塗膜に付着した汚れが取れやすい

塗膜表面が緻密な構造をしているため、塗膜と汚れ物質との間に水が入り込みやすく、汚れ物質を容易に除去することができます。

汚れ防止形塗料



従来形塗料



# Vフロン#200クリーン

常温乾燥形雨すじ汚れ防止ふっ素樹脂塗料

## 商品構成

- Vフロン#200クリーン中塗
  - 4kg セット (主剤 3.6kg、硬化剤 0.4kg)
  - 16kg セット (主剤 14.4kg、硬化剤 1.6kg)
- Vフロン#200クリーン上塗
  - 1kg セット (主剤 0.8kg、硬化剤 0.2kg)
  - 4kg セット (主剤 3.2kg、硬化剤 0.8kg)
  - 16kg セット (主剤 12.8kg、硬化剤 3.2kg)

## 用途

- 外壁コンクリート、モルタル面の新設及び塗り替え
- アルミニウム・亜鉛めっき鋼板などのカーテンウォールの新設及び塗り替え

※上記以外の用途に使用される場合は、弊社にお問い合わせ下さい。

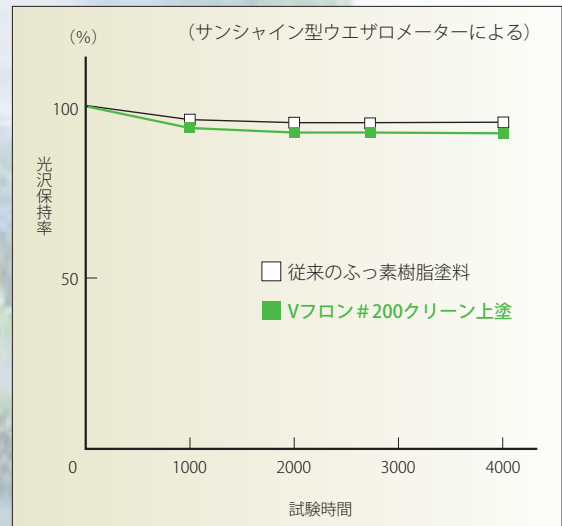
## 屋外暴露試験

屋外暴露結果 (当社内暴露6ヶ月)



従来のふっ素樹脂塗料      Vフロン#200クリーン上塗

## 促進耐候性試験



## 塗膜性能

項目		Vフロン#200クリーン上塗 試験結果	試験条件
光沢		3分つや~つや有り	60度鏡面光沢度
鉛筆引っかき硬度		H	三菱鉛筆ユニ (7日)
付着性		100/100	基盤目テープテスト (成層膜にて)
耐衝撃性		合格	1/2インチ×500g×30cm
耐酸性		異常なし	5% H <sub>2</sub> SO <sub>4</sub> 7日間浸漬
耐アルカリ性		異常なし	5% NaOH 7日間浸漬
耐沸騰水性	外観	異常なし	3時間浸漬 基盤目テープテスト
	二次付着性	100/100	
耐塩水噴霧性	外観	異常なし	35℃ 5% NaCl 1000時間 テープテスト
	クロスカット	1以下	
促進耐候性	外観	異常なし	サンシャインW-O-M 4000時間
	光沢保持率	85%以上	

## 塗装仕様例

### ☒ モルタル、コンクリート、スレート面 新設塗装

工程	商品名	色相	混合比率 (重量比)	希釈率 (%) (重量比)	塗装方法	標準使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装間隔 (20℃)
素地調整	砂塵、セメント粉末、ゴミ、油脂分などの付着物をワイヤーブラシ、サンドペーパー、ウエス、シンナーなどで除去し、乾燥した清浄な面にする。						
下塗	Vフロン#200 プライマー	白	主 剤 70 硬化剤 30	Vフロン#200プライマーシンナー 5~30	刷毛 ローラー スプレー	0.11~0.15	16時間以上 7日以内
中塗	Vフロン#200 クリーン中塗	各色	主 剤 90 硬化剤 10	Vフロン上塗シンナー 10~30	刷毛 ローラー スプレー	0.10~0.13	12時間以上 3日以内
上塗	Vフロン#200 クリーン上塗	各色	主 剤 80 硬化剤 20	Vフロン上塗シンナー 5~20	刷毛 ローラー スプレー	0.10~0.13	—

### ☒ アルミニウムカーテンウォール 塗り替え塗装

工程	商品名	色相	混合比率 (重量比)	希釈率 (%) (重量比)	塗装方法	標準使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装間隔 (20℃)
素地調整	全面に#180~#240 研磨紙にて目荒らしをし、有害な付着物を除去し、被塗面を清浄にする。						
下塗	Vフロン#200 プライマー	白	主 剤 70 硬化剤 30	Vフロン#200プライマーシンナー 5~30	刷毛 ローラー スプレー	0.11~0.15	16時間以上 7日以内
中塗	Vフロン#200 クリーン中塗	各色	主 剤 90 硬化剤 10	Vフロン上塗シンナー 10~30	刷毛 ローラー スプレー	0.10~0.13	12時間以上 3日以内
上塗	Vフロン#200 クリーン上塗	各色	主 剤 80 硬化剤 20	Vフロン上塗シンナー 5~20	刷毛 ローラー スプレー	0.10~0.13	—

## 施工上の注意

- Vフロン#200 クリーン上塗を塗装後、さらに上塗を塗装する場合(補修塗りなど)は、サンドペーパーでつや消しになるまで研磨して下さい。
- Vフロン#200 クリーン中塗・上塗の上には、Vフロン#200 プライマーは付着しません。塗装しないで下さい。
- 5分つや、7分つやなどの各つやを塗装する場合  
**塗装方法**：スプレーか短毛ローラーを使用して下さい。この場合シンナーはVフロンリターダーシンナーを併用した方がきれいに仕上がります。(ラッカーリターダーは使用不可)  
**塗装間隔**：ローラー塗装の場合、Vフロン#200 クリーン中塗と上塗の塗装間隔は16時間以上(20℃)です。
- メタリックの場合  
**塗装方法**：エアスプレー(カップガン)塗装  
**塗装間隔**：メタリックの塗装間隔は約30分、その上にクリアー塗装する塗装間隔は16時間以上とし、押さえ吹き、肉付け吹き、ムラ切り吹き塗装をして下さい。
- 強制乾燥も可能です。  
 この場合  
 ①Vフロン#200 クリーン中塗・上塗の希釈は、Vフロン#2000 上塗シンナーを使用して下さい。  
 ②Vフロン#200 プライマーは、セッティング 10~20 分、100℃×15~20 分。(素材温度)  
 ③Vフロン#200 クリーン中塗・上塗を2コート1ベークで行い、中塗のセッティングは10~20分。上塗のセッティング時間は、10~20分、120℃×20~30分。(素地温度)

# Vフロン#2000FC

中温焼付乾燥形雨すじ汚れ防止ふっ素樹脂塗料

## 商品構成

### ■ Vフロン#2000FC 上塗

1kg セット (主剤 0.9kg、添加剤 0.1kg)

4kg セット (主剤 3.6kg、添加剤 0.4kg)

16kg セット (主剤 14.4kg、添加剤 1.6kg)

## 用途

■ アルミニウム・亜鉛めっき鋼板・ステンレス鋼板などのカーテンウォール

■ サッシ、スパンドレル、エクステリア部品、道路資材、サイディング材など

※上記以外の用途に使用される場合は、弊社にお問い合わせ下さい。

## 屋外暴露試験

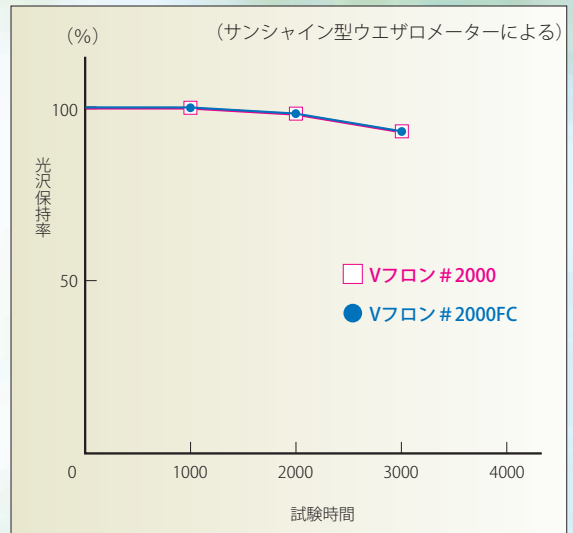
屋外暴露結果 (当社内暴露6ヶ月)



従来のふっ素樹脂塗料

Vフロン#2000FCクリーン上塗

## 促進耐候性試験



## 塗膜性能

項目	試験結果		試験条件
	Vフロン#2000	Vフロン#2000FC	
タイプ	標準品	低汚染タイプ (雨すじ汚れ防止)	
光沢	3分つや~つや有り	3分つや~つや有り	60度鏡面光沢度
鉛筆引っかき硬度	2H	2H	三菱鉛筆ユニ
附着性	10	10	基盤目テープテスト
耐衝撃性	N (表打)	5	1/2インチ×500g×50cm
	R (裏打)	4	
耐沸騰水性	外観	10	98℃以上イオン交換水5時間浸漬 基盤目テープテスト
	二次附着性	10	
耐アルカリ性	異常なし	異常なし	5% NaOH 72時間 (リングテスト)
耐酸性	異常なし	異常なし	5% H <sub>2</sub> SO <sub>4</sub> 72時間 (リングテスト)
耐湿性	外観	10	50℃ RH98% 3000時間 基盤目テープテスト
	二次附着性	10	
耐塩水噴霧性	外観	10	35℃ 5% NaCl 3000時間 テープテスト
	クロスカット	10	
耐汚染性 (ΔE)	7.2	0.8	カーボン法
促進耐候性	外観	異常なし	サンシャインW-O-M 3000時間
	光沢保持率	93%	



## 塗装仕様例(アルミニウムカーテンウォール新設塗装)

### 1 ソリッドカラーの場合

工 程	作業内容	塗装粘度 (秒) FC#4	膜 厚 (μm)
1	素地調整	—	—
2	エアブロー	—	—
3	CFプライマー	エアスプレー : 20~25 静電塗装 : 15~25	5~10
4	セッティング	—	—
5	Vフロン#2000FC上塗 指定色	エアスプレー : 20~25 静電塗装 : 15~25	15~20
6	セッティング	—	—
7	Vフロン#2000FC上塗 指定色	エアスプレー : 20~25 静電塗装 : 15~25	20以上
8	セッティング	—	—
9	焼付	—	—

注) 工程 6 と 7 の間に焼付を行う場合は、工程 5 の塗料は添加剤を混合せず主剤のみで塗装して下さい。

### 2 メタリックカラーの場合

工 程	作業内容	塗装粘度 (秒) FC#4	膜 厚 (μm)
1	素地調整	—	—
2	エアブロー	—	—
3	CFプライマー	エアスプレー : 20~25 静電塗装 : 15~25	5~10
4	セッティング	—	—
5	Vフロン#2000上塗 メタリック 指定色	エアスプレー : 20~25 静電塗装 : 15~25	15~20
6	セッティング	—	—
7	Vフロン#2000上塗 メタリック 指定色	エアスプレー : 20~25 静電塗装 : 15~25	20以上
8	セッティング	—	—
9	焼付	—	—
10	エアブロー	—	—
11	Vフロン#2000FC クリアー	エアスプレー : 20~25 静電塗装 : 15~25	10~15
12	セッティング	—	—
13	焼付	—	—



## 補修塗装仕様例

### 1 現地での面補修の場合 (常温乾燥形ふっ素での補修)

工 程	作業内容
1	素地調整
2	溶剤払拭
3	Vフロン#200クリーン 上塗 指定色

Vフロン#2000FC上塗 (指定色) の塗膜面を #400~#600のサンドペーパーにて均一に研磨する  
 研磨した部分をシンナーを含ませた布で払拭し、清浄な面にする  
 Vフロン#200クリーン上塗 (指定色) を主剤80部に対し硬化剤20部の割合で混合し、Vフロン上塗シンナーで希釈後、刷毛、筆さし又はエアスプレーで塗装する (目標膜厚: 25~35μm)

### 2 小さな傷の場合 (常温乾燥形ふっ素での補修)

工 程	作業内容
1	素地調整
2	溶剤払拭
3	Vフロン#200クリーン 上塗 指定色

傷周辺部の塗膜面を #400~#600のサンドペーパーにて均一に研磨する  
 研磨した部分をシンナーを含ませた布で払拭し、清浄な面にする  
 Vフロン#200クリーン上塗 (指定色) を主剤80部に対し硬化剤20部の割合で混合し、Vフロン上塗シンナーで希釈後、刷毛、筆さし又はエアスプレーで塗装する

# Vフロン#2000FC

中温焼付乾燥形雨すじ汚れ防止ふっ素樹脂塗料

## 施工上の注意

1. Vフロン#2000FCに用いる下塗塗料、シンナーはVフロン#2000と共通です。
2. 化成皮膜処理は、アルミ素材用の処理を行って下さい。
3. 表面処理基準は、処理剤メーカーの仕様及び管理基準に従って実施して下さい。
4. 色相がN8.5以上の淡彩系の場合は、上塗指定色の膜厚を45 $\mu$ m以上にして下さい。
5. 隠ぺい性の劣る色相及びブルー系の色相の場合は、N7.0クラスのグレー又は共色の中塗を15 $\mu$ m以上塗装して下さい。
6. 塗装回数及び膜厚は施工環境の状態により増減します。
7. 焼付条件は被塗物の形状、大きさによって多少の変動があります。
8. 焼付温度は素材表面の温度で管理して下さい。

## Vフロン#200 クリーン・Vフロン#2000FC 使用上の注意

Vフロン#200クリーン中塗 主剤 G50  
Vフロン#200クリーン上塗 主剤  
Vフロン#2000FC上塗 主剤



危険

●引火性の高い液体および蒸気●飲み込むと有害のおそれ●吸入すると有害●皮膚刺激●重篤な眼の損傷●吸入するとアレルギー、喘息又は呼吸困難を起こすおそれ●アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ●遺伝性疾患のおそれ●発がんのおそれ●生殖能又は胎児への悪影響のおそれ●臓器(神経、腎臓等)の障害●長期にわたる又は反復暴露による臓器(呼吸器、神経、腎臓等)の障害●水生生物に非常に強い毒性●長期的影響により水生生物に毒性

Vフロン#200クリーン中塗 硬化剤 G55



危険

●引火性液体および蒸気●飲み込むと有害のおそれ●皮膚に接触すると有害●吸入すると有害●皮膚刺激●重篤な眼の刺激●吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ●アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ●遺伝性疾患のおそれ●発がんのおそれ●生殖能又は胎児への悪影響のおそれ●臓器(神経、腎臓等)の障害●長期にわたる又は反復暴露による臓器(呼吸器、神経、腎臓等)の障害●水生生物に毒性●長期的影響により水生生物に有害

Vフロン#200クリーン上塗 硬化剤 HF9



危険

●引火性液体および蒸気●吸入すると有害●軽度の皮膚刺激●重篤な眼への刺激●吸入するとアレルギー、喘息又は、呼吸困難を起こすおそれ●アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ●臓器(神経、腎臓等)の障害●水生生物に有害

Vフロン#2000FC上塗 硬化剤 G30



危険

●引火性の高い液体および蒸気●飲み込むと有害●吸入すると有害●皮膚に接触すると有害●皮膚刺激●重篤な眼への刺激●遺伝性疾患のおそれ●発がんのおそれ●生殖能又は胎児への悪影響のおそれ●臓器(神経、腎臓等)の障害●長期にわたる又は反復暴露による臓器(呼吸器、神経、腎臓等)の障害●水生生物に毒性●長期的影響により水生生物に有害

吸入したり皮ふにふれたりすると中毒やかぶれを起こす恐れがありますから、**取扱いには下記の注意事項を守って下さい。**

### ●取扱い上の注意

1. 火気のない局所排気装置を設けたところで使用して下さい。
2. 塗装中、乾燥中は換気をよくし、蒸気を吸込まないようにして下さい。
3. 取扱い中は、皮ふにふれないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用して下さい。  
有機ガス用防毒マスク又は送気マスク、頭巾、保護めがね、長袖の作業衣、えり巻きタオル、保護手袋等。
4. 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行ってください。
5. 塗料の付いたウエスや塗料カス、スプレーダストは廃棄するまで水につけておいて下さい。
6. よくフタをし、40℃以下の一定の場所に貯蔵して下さい。
7. 子供の手の届かないところに保管して下さい。
8. 捨てる時は、産業廃棄物として処分して下さい。
9. 本来の用途以外に使用しないで下さい。
10. 容器は垂直に持ち上げて下さい。斜めに持ち上げると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。

### ●緊急時の処置

1. 火災時には炭酸ガス消火器、泡消火器又は粉末消火器を用いて下さい。
2. 目に入った時には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
3. 誤って飲み込んだ時には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
4. 皮ふに付着した時には、多量の水で洗い落とし、痛みや皮ふに変化等がある場合には、医師の診察を受けて下さい。
5. 蒸気、ガス等を吸込んで気分が悪くなった時には、安静にし、医師の診察を要して下さい。
6. 容器からこぼれた時には、布で拭きとり、その布を水の入った容器に保管して下さい。

※詳細な内容が必要な時には、製品安全データシート(MSDS)をご参照下さい。  
※左記 GHS 表示は一例であり、色相等により容器ラベルの GHS 表示とは異なる場合があります。

— Vフロン#200 クリーン・Vフロン#2000FC 主要実績一覧 —

Vフロン#200クリーン	
年 度	物件名
1995年	掛川市庁舎(静岡)
1996年	キャロットビル(東京)
1996年	藤倉病院
1996年	アステム芦屋(兵庫)
1996年	大阪南港トンネル
1996年	三井物産 本社ビル(東京)
1996年	ウイング高輪ウエスト(東京)
1996年	生涯学習プラザ
1996年	北海道厚生年金会館(札幌)
1997年	警察共済組合 新半蔵門会館(東京)
1997年	海洋船舶ビル(東京)
1997年	日産自動車 本社ビル(東京)
1997年	青山ビル(東京)
1997年	新都道府県会館(東京)
1997年	電波ビル(東京)
1997年	博多リパレイン(福岡)
1997年	山科ダイマルヤ(京都)
1997年	ネグロス電工(東京)
1997年	西船橋ハイリビング(千葉)
1998年	かわさきファズ
1998年	半田運動公園メインスタンド(愛知)
1999年	NEC 玉川ルネッサンスシティ(特期)(東京)
1999年	NTT コムウェア 本社ビル(東京)
2001年	丸の内ビルディング(東京)
2001年	初山別村体育館(北海道)
2002年	東京電力豊洲コンピューターセンター
2002年	NTT ドコモ中野ビル(東京)
2003年	NEC 玉川ルネッサンスシティ(監期)(東京)
2003年	六本木ルーテル教会(東京)
2003年	虎ノ門5丁目ビル(東京)
2003年	豊洲 I S Tビル(東京)
2004年	羽田空港(東京)
2004年	東北大学工学院電場研究棟(仙台)
2004年	デスク本社工場(東京)
2005年	丸の内オアゾ(東京)
2008年	丸の内パークビルディング(東京)
2008年	TOC みなとみらい(横浜)

Vフロン#2000FC	
年 度	物件名
1999年	NEC 玉川ルネッサンスシティ(特期)(東京)
1999年	晴海アイランドトリトンスクエア(東京)
2000年	日本ビューレット・パッカードビル(東京)
2001年	環状第7号線立体交差点(東京)
2001年	パシフィコ横浜
2002年	日本テレビタワー(東京)
2002年	JA 共済大阪ビル
2003年	NEC 玉川ルネッサンスシティ(監期)(東京)
2003年	城南信用金庫 本店(東京)
2003年	福井赤十字病院
2004年	有明癌センター ヘリポート(東京)
2004年	成田空港 中央管理棟(千葉)
2004年	ヤマギワ秋葉原 本店(東京)
2005年	名古屋ルーセントタワー
2006年	東京ミッドタウン
2006年	小田急相模原ビル(神奈川)
2006年	渋谷公園通り店(東京)
2007年	乃村工藝社 本社ビル(東京)
2007年	中央1丁目ビル(東京)
2008年	日本経済新聞社 東京本社ビル
2008年	日本興亜日本橋ビル(東京)
2008年	東五反田2丁目再開発(東京)
2009年	NEC 玉川ソリューションセンター(東京)
2009年	鳥飼車輛基地(大阪)
2009年	ニッセイ同和損保日本橋ビル(東京)
2009年	新千歳空港ビル(北海道)



# DNT 大日本塗料株式会社

## ●東日本販売部

東京営業所 ☎03-5710-4501 ☎144-0052 東京都大田区蒲田 5-13-23 (TOKYU REIT 蒲田ビル)  
札幌営業所 ☎011-822-1661 ☎003-0012 札幌市白石区中央二条 1-5-1  
仙台営業所 ☎022-236-1020 ☎983-0034 仙台市宮城野区扇町 5-6-20  
北関東営業所 ☎0285-24-0123 ☎323-0025 小山市城山町 2-10-14 (日光堂ビル)  
埼玉営業所 ☎048-601-0711 ☎330-0843 さいたま市大宮区吉敷町 4-261-1  
新潟営業所 ☎025-244-7890 ☎950-0087 新潟市中央区東大通 1-4-1 (マルタケビル)  
長野営業所 ☎026-268-4544 ☎380-0913 長野市大字川合新田 1471  
千葉営業所 ☎043-225-1721 ☎260-0015 千葉市中央区富士見 2-7-5 (富士見ハイネスビル)  
神奈川営業所 ☎046-246-1362 ☎243-0801 厚木市上依知 1043  
静岡営業所 ☎054-254-5341 ☎420-0857 静岡市葵区御幸町 8 (静岡三菱ビル)

## ●西日本販売部

大阪営業所 ☎06-6466-6618 ☎554-0052 大阪市此花区常吉 2-12-7  
名古屋営業所 ☎052-332-1701 ☎460-0022 名古屋市中区金山 1-12-14 (金山総合ビル)  
富山営業所 ☎076-451-9470 ☎930-0997 富山市新庄北町 5-1  
京滋営業所 ☎075-595-7761 ☎607-8085 京都市山科区竹鼻堂/前町 46-1 (三井生命京都山科ビル)  
神戸営業所 ☎078-362-0091 ☎650-0025 神戸市中央区相生町 1-2-1 (東成ビル)  
岡山営業所 ☎086-255-0151 ☎700-0034 岡山市北区高柳東町 13-5  
広島営業所 ☎082-286-2811 ☎732-0802 広島市南区大州 3-4-1  
高松営業所 ☎087-823-5591 ☎760-0064 高松市朝日新町 7-8  
福岡営業所 ☎092-938-8222 ☎811-2312 福岡県粕屋郡粕屋町大字戸原字ノル 142  
長崎営業所 ☎095-824-3457 ☎850-0033 長崎市万才町 6-38 (明治安田生命長崎ビル)

塗料相談室 フリーコール 0088-22-1641 <sup>いろいろい</sup> <http://www.dnt.co.jp/>